



ユニット型 特別養護老人ホーム

ゆーとりあ



あたりまえの暮らしを、ずっと。  
自分らしい暮らしを、もっと。  
一人ひとりのおもいを暮らしに映す。

私たち社会福祉法人五常会は、

介護施設における「住まい」と「介護」の関係性はどうあるべきかを考え、

全室個室のユニット型特別養護老人ホームを運営しています。

介護には環境が大きく影響し、また、ハードの持つ介護力に助けられます。

私たちは、「あたりまえの暮らし」「おもいおもいの暮らし」

をしていただくことを介護の基本とし、また、

今までの「暮らしの継続」と地域やご家族との「つながりある暮らし」

を大切に支援したいと考えています。

新人職員からベテラン職員まで皆が同じ気持ちを心に抱き、

ご入居者と共に過ごす瞬間を大切に、一つひとつ経験を積み重ねて、

微力ながらも高齢者福祉の一翼を担えるよう努力してまいりたいと思っています。



# ユニット型特別養護老人ホームゆーとりのユニットケア

## もう一つの「家」のように

介護施設にいても、今までどおりに、自分らしく。

ユニットケアは、入居者の方が長い時を過ごしてきたご自宅と

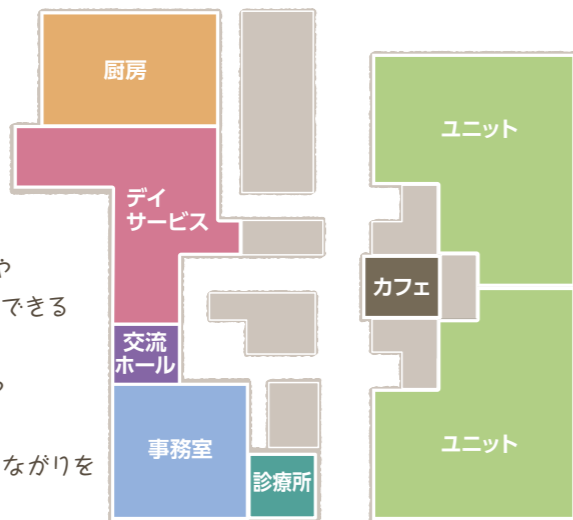
変わらない暮らしを続けていくことをサポートするための介護の方法です。

「一人ひとりのあたりまえの暮らし、おもいおもいの暮らし」をつくる中心に、

ユニットケアがあります。

### ● ユニットケアのポイント ●

- ・1ユニット10部屋、プライバシーを守る「個室」
- ・コミュニケーションのための「リビング」（共同生活室）
- ・各ユニットに固定配置された介護スタッフ



ユニットのすぐそばには、地元の食材を使った手作りのおいしい食事を提供する厨房やマシンを使ったトレーニングもできるデイサービス、地域の方も使用されるカフェや交流スペースを併設。いつでも、人のあたたかさやつながりを感じられる環境です。

各ユニットの入り口は、お家みたいに靴を脱いであがる玄関。他のユニットへのお出かけもできます。

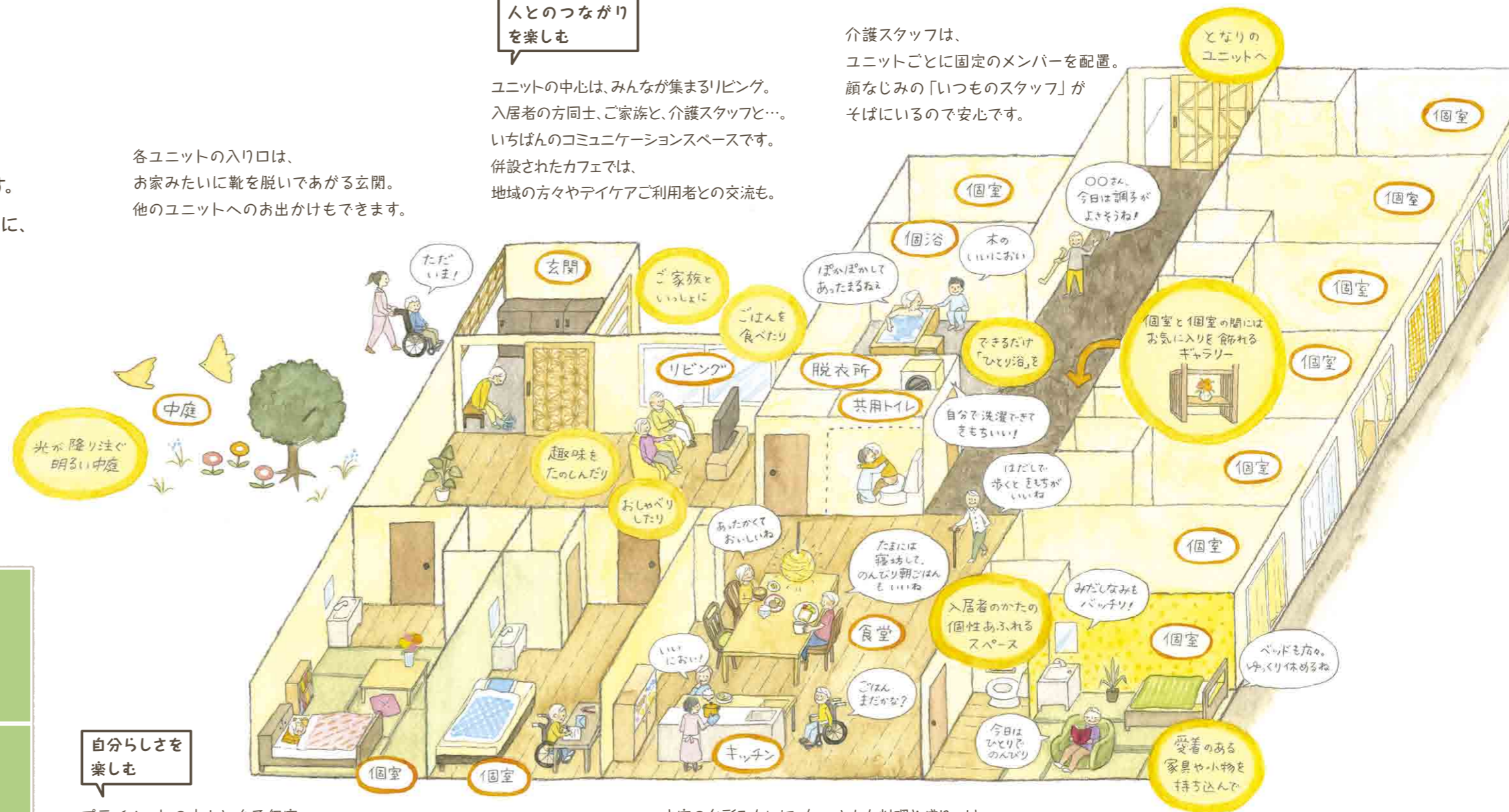
### 人とのつながりを楽しむ

ユニットの中心は、みんなが集まるリビング。入居者の方同士、ご家族と、介護スタッフと…。いちばんのコミュニケーションスペースです。併設されたカフェでは、地域の方々やデイケアご利用者との交流も。

### 自分らしさを楽しむ

プライベートの中心となる個室。一人ひとりの個性、ライフスタイル、生活のペースにあった、自分だけのお部屋を。

介護スタッフは、ユニットごとに固定のメンバーを配置。顔なじみの「いつものスタッフ」がそばにいますので安心です。



木材をたっぷり使った内装。木の肌ざわりやにおいでリラックス。

お家の台所みたいに、ちょっとした料理や盛りつけ、洗い物ができるミニキッチン。お食事は、食堂やリビングでゆったりと。



## ほんとうにやすらげる「私だけ」の空間。

ご入居、短期入所ともに、すべて個室をご使用いただきます。

お部屋には鍵がかけられるので、プライバシーも安心です。

また、ご入居者の個室には、使い慣れた家具や小物を自由に持ち込んでいただくことができます。

「住まい」を意識した、ご自分の生活スタイルに合った居住空間をぜひつくりだしてください。

きれいに整頓されたお部屋、物であふれたお部屋、簡素なお部屋。

入居者の方の個性があふれるいろいろなお部屋。

お部屋を見れば「どの方の住まいか」が分かるような環境が理想です。

### ご入居

トイレの向きやベッドから下りられる際の方向を考慮。できるかぎり、ご入居者の身体状況に合ったお部屋をおすすめいたします。



### お部屋づくり

冷蔵庫やテレビ、携帯電話なども自由に持ち込めます。お好みのカーテン(防災)をかけて、より自分らしい暮らしの演出も。

### トイレ

トイレには、格子状の手すり、前方跳ね上げ手すり、両肘バーを設置。なるべくお一人でご利用いただけるように工夫しています。







すこす

## 「おもいおもい」に過ごす毎日を楽しむ。

お食事は「ゆーとりあ」のこだわりの一つ。地元の野菜をはじめとした安全でおいしい食材を使用し、職員がご入居者の状況に合わせてつくるお料理をご自身のお箸、お茶碗で食べていただきます。

キッチンには冷蔵庫や電子レンジなども置かれ、家庭と変わらない設えに。

可能なご入居者には食器洗い、後片付けもお手伝いしていただけるよう、

シンクは背の高いものと低いものをご用意しています。

一人になりたい時はご自分の居室で過ごし、団欒を楽しみたい時はリビングやダイニングでにぎやかに。

時には思いっきり寝坊して遅い食事を取り、お皿を洗って、洗濯をして、

リビングで語らい、TVを見て、お菓子を食べて。

「ゆーとりあ」には、そんなあたりまえの生活風景があります。

### キッチン

ご飯とお汁物は、各ユニットのキッチンで調理。お味噌汁やご飯の炊けるにのいの漂う空間で、時には、ご入居者と一緒に盛りつけを行うことも。



### お食事

お食事の時間は、一人ひとりのご意向をできるだけ尊重し、温かいお食事を食べていただけるよう配慮します。

### 食材

地域の農家の方がつくられた新鮮な野菜は元気のみなもと。また、ソフト食には特に力を入れており、すべて職員による手づくりです。

ささえる

## 「あたりまえ」の生活を取り戻すお手伝い。

ユニットケアでいちばんに心がけていること。それは、自宅の環境に近い、少し工夫された建物のなかで、今までの暮らしや生活習慣を大切にしながら、自分らしく過ごしていただくこと。

例えば、ユニットの入り口には玄関を設け、そこで靴の履き替えを行い、

ユニット内は裸足(靴下)や室内履きで過ごしていただけます。

また、「ひとり浴」を推進し、特殊浴槽に頼らないふつうの入浴にこだわります。

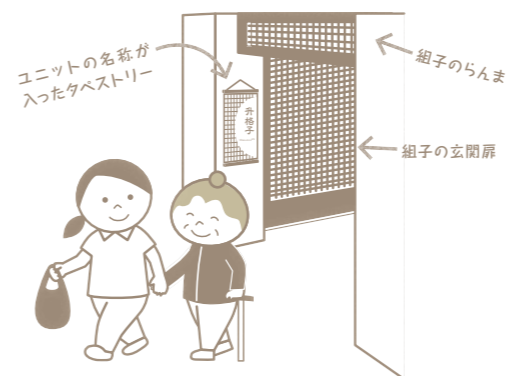
そのために、スタッフ一人ひとりの介護技術の向上にも力を入れて取り組んでいます。

「ゆーとりあ」では、流れ作業のような業務を分担した介護はせず、

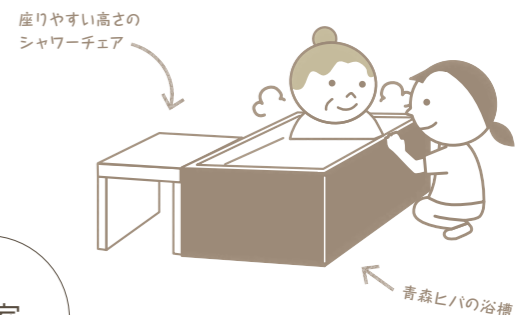
ご入居者の体に残っている日常生活の力を活用し、自分でどうしてもできないところのお手伝いをいたします。

### 玄関

玄関扉や欄間の装飾には組子を使用。  
各ユニットには、  
その文様にちなんだ名称がつけられています。  
内装にも天然木を多く用い、  
木の香りや手触りを楽しんでいただけます。



### 浴室



すばりにくく、香りもよい青森ヒバの浴槽を使用。  
さらに、手すりなどを設置することで、  
ご自身の力を最大限に利用しながら、  
一人ずつゆったり入浴していただけます。

### 床

ユニット内共用部の床はすべて二重構造。転倒してもその衝撃を少しでもやわらげるように工夫しています。



## つながる



## 人と、地域と。つながり、暮らす。

たとえ介護が必要となっても、自宅に住み、家族や親しい人々と共に、地域のなかで不安のない生活を送りつづけたい。

私たちの目指す介護は、そんな高齢者の願いに応え、その方らしい生活を最後までつづけられるよう支援することだと考えています。

地域や社会とつながりつづけるために、

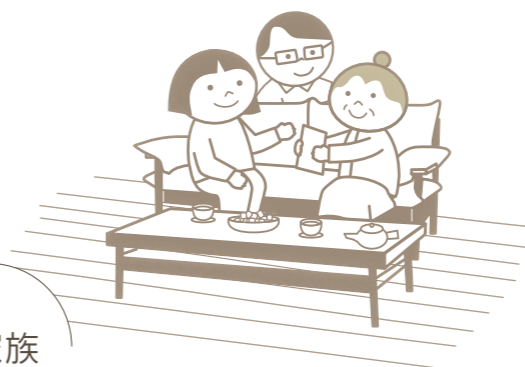
ユニット、そして施設内にとどまらない多くの人との交流は、とても大切なこと。

「ゆーとりあ」のご入居者や職員は、地域の方に施設を訪れていただくだけでなく、

自ら出向いて地域の施設を利用するなどの活動を通じて、地域と一体となることを目指します。

### ご家族

ご家族は、ユニット内で自由にご入居者とお茶やお食事をして過ごしてください。掃除や洗濯も、ぜひお手伝いをお願いします。

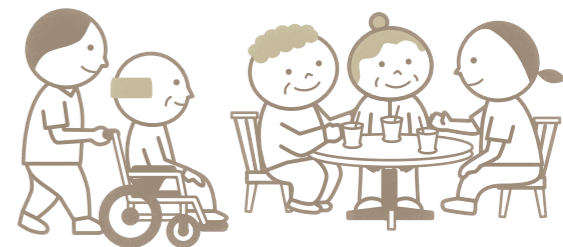


### お出かけ

「ゆーとりあ」の暮らしは、住まい(ユニット)では完結しません。公民館(交流ホール)や喫茶店、お店(カフェコーナー)のある街(ユニット外)にも、どんどんお出かけしてください。

### カフェ

デイサービスご利用者、短期ご入所者、地域の方々…。さまざまな方が集まるカフェは、多くの人と出会い、つながる大切なスペースです。



# よりそって



## 日々に、気持ちに、よりそいつづける。

ご入居者のご家族の気持ちによりそったケアは、私たちが常に心がけなければならないことです。

ご入居者と共に過ごす日常の時間の延長線上には、いずれ最期の時が訪れます。

その時を「どのように迎えるのか」「どのようによりそうのか」……。

その瞬間を誠実に務めるためにも、

日ごろからご本人とご家族の言葉に耳を傾け、気持ちを酌むことを大切にしていきます。

すべてのご入居者を最期まで支えるためには、課題も多くあります。

看取りケアへの取り組みは、試行錯誤の繰り返しです。

しかし、「日々の真摯なかかわりの積み重ね、その先に訪れがある」との考えに基づいたケアを

「ゆーとりあ」は目指したいと考えています。

### 看取り

日ごろから、ご入居者だけでなく  
ご家族との信頼関係を大切にし、  
気持ちの揺れにもていねいによりそいます。

ご本人とご家族の意向があれば、延命治療は行わず、  
ご自分の部屋でご家族や友人と一緒に過ごせる時間をつくります。  
にぎやかな声に囲まれた穏やかな最期が理想です。

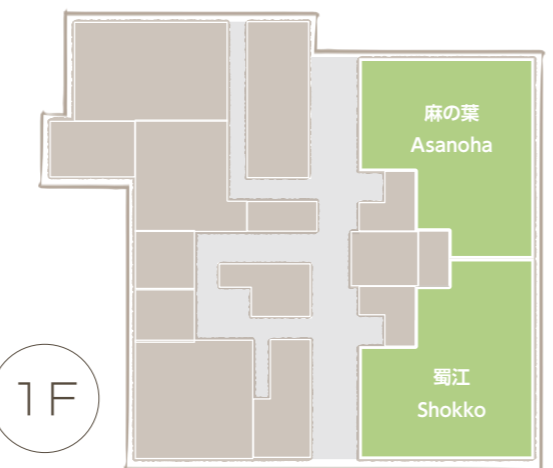
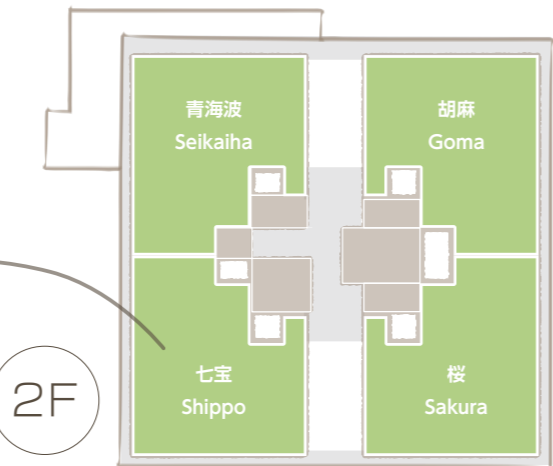
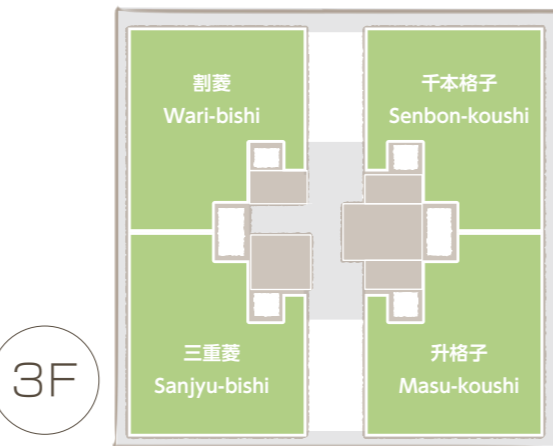
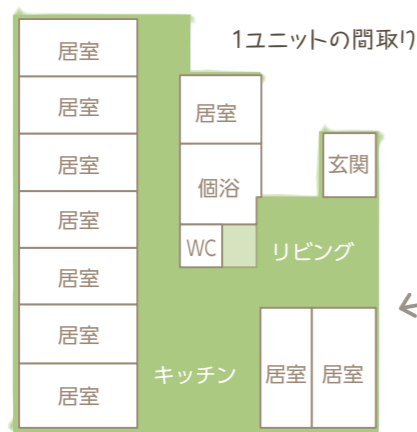


介護スタッフは、ご入居者が不安や寂しさを感じることがないようにお声掛け、見守りを行い、  
医療スタッフは、できるだけ痛みや苦しみがないように全力を尽くします。



# 施設案内

各ユニットの玄関周りはそれぞれ組子文様が施され、その組子の格子模様がユニットの名称になっています。



## ● 施設規模

鉄筋コンクリート造	地上 3F
延べ床面積	5144.80 平米
3F	居室 40 人 (4 ユニット)
2F	居室 40 人 (4 ユニット)
1F	ショート20人(2ユニット)、 デイサービス(20人)、カフェ、 交流ホール、事務所、厨房

## ユニット型 特別養護老人ホーム

ユニットケアで、  
一人ひとりの「あたりまえ」の暮らし  
をお手伝い

- ・介護老人福祉施設 (定員80名)
- ・短期入所生活介護 (定員20名)

## ケアハウス

外泊や来客、お仕事も  
ご自宅同様の生活を施設で継続

- ・軽費老人ホーム
- ・特定施設入居者生活介護 (定員50名)

## デイサービスセンター きりり

楽しみながら  
日常の自立を取り戻す  
機能訓練型デイサービス

- ・通所介護 (定員20名)

## デイサービスセンター ほっこり

認知症の方とご家族を  
まごころを込めてサポート

- ・認知症対応型通所介護 (定員12名)

地域の皆さまのあらゆるニーズに応える「高齢者総合福祉施設」

## 高齢者総合福祉施設 ゆーとりあ

「一人ひとりの思いを暮らしに映す」という理念のもと、社会福祉法人五常会では、  
ユニット型特別養護老人ホーム、ケアハウスを中心とする施設でのケアから、  
デイサービスなどの在宅ケアまで幅広いサービスをご提供。

地域の皆さまの介護ニーズにトータルにお応えしていきます。

## ホームヘルプ サービス

身体介護、家事援助、移動介護から  
ヘルパー利用のご相談まで

- ・訪問介護
- ・福祉有償運送事業

## 社会福祉法人 五常会診療所

入居者の皆さま、  
地域の皆さまのかかりつけ医に

- ・診療所

## ケアプラン センター

要介護認定の申請代行や  
ケアプランの作成など、  
最適な介護サービスをご提案

- ・居宅介護支援事業

## 在宅介護 支援センター

介護に関する疑問、お悩みに  
ケアマネージャーがお応え

- ・高齢者総合相談事業
- ・介護予防・地域住民グループ支援事業

お問い合わせ

高齢者総合福祉施設 ゆーとりあ

TEL. 072-236-8779 <http://yutoria.or.jp>

大阪府堺市中区見野山164番地

〈アクセス〉

- 電車・バス  
泉北高速鉄道 泉ヶ丘駅 下車  
南海バス金剛行 岩室 下車 徒歩5分  
または高倉台回り 堺東高校前 下車 徒歩10分  
南海高野線 金剛駅 下車  
南海バス泉ヶ丘駅行 岩室 下車 徒歩5分
- タクシー  
泉ヶ丘駅より約5分  
金剛駅より約10分
- お車  
阪和自動車堺インターより約10分



社会福祉法人 五常会

「高齢者総合福祉施設 ゆーとりあ」は、「社会福祉法人 五常会」が運営しております。

イラスト・おりでちせ